

太田地区では、「太田の魅力をもっと高めていく、地域活動のあり方を考えよう！」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回のワークショップを実施しています。令和5年12月9日(土)に開催した第3回のワークショップでは、6つのグループに分かれてワークを行いました。

ワーク ① 具体的にしていきたいアイデアを整理しよう！

第3回は第1回、第2回の意見交換を踏まえて、アイデアの具体化に向けた意見交換をしました。

「①地域活動・つながり・集いの場」「②若い世代・世代間交流」「③こども・安全・安心」の3つのテーマに分かれて、取組のアイデアを話し合いました。



第3回 実施概要

日 時：2023.12. 9 (土)

19:00~21:00

会 場：太田公民館

参加者数：31人

プログラム

- 1：前回の振り返り
- 2：バースデーライン（アイスブレイク）
- 3：テーブルワーク①
「具体的にしていきたいアイデアを整理しよう」
- 4：テーブルワーク②
「ワークシートにまとめよう」
- 5：グループ発表（全体共有）

ワーク ② 具体的にやってみたいアイデアを整理し、ワークシートにまとめよう！

○各グループの話し合い内容（抜粋）

テーマ	グループ	取組名称	活動の目的	具体的な内容	誰がやる？	最初の一步
①地域活動・つながり・集いの場	1	地域の人でこどもの習い事をみる	・どこのこどもにも来てもらえるようにする ・習い事を選択肢を増やす	・手頃な価格で習い事ができるように工夫する ・例) 茶道や囲碁など	・有償ボランティアで人材確保 ・大学生などもシフトを組んで参加してもらう	・まずは地域人材・スキルの発掘のためのアンケート
		地域全体で楽しめる地蔵盆 ～こどもがウロウロできる夜があってもいいんじゃない？～	・こどもを通じた繋がりがづくりの取組が必要→若い人の意見を聞く場をつくる	・地蔵盆を地域のこども達に開放する ・自転車でこどもたちがあちこち巡れるように地蔵盆マップを作成する ・企業の協賛や自治会の予算を活用する ・夜の映画会の実施	・全体で協力してやっていく	・まずは来年からやってみる
②若い世代・世代間交流・住環境	2	バトンをつなぐ ～地元が好っきゃねん～	・地元で顔見知りを作る ・最終的には地域のために、地域への恩返し	・あいさつ運動はコミュニケーションの場になっている ・自分たちでこういう場（ワークショップ）を作る ・面白いと感じさせる ・新しい人を入れる ・地域活動にメリットを！ ・イベントを継続する周知が大事	・まず自分たちがやる！	・きっかけを作る ・まずは来てもらう周知から行う
		情報のプラットフォーム	・情報のアーカイブ化をする ・子育て世帯が情報を得る場所をつくる ・新規住民が地域活動に参画するきっかけをつくる	・回覧板のアーカイブ化（PDF 化していつでも見れるようにする） ・SNS の勉強会 ・文化展の様子を SNS で情報発信 ・こどもたちが高齢者に教える勉強会の開催	・ウィキペディア方式（みんなで編集できる） ・SNS はこどもが得意 →学校の部活などに運営を依頼してみる	・ほかの地域も参考にできるかも ・SNS 勉強会をしてみる →世代間交流になる ・ハッシュタグを作って、みんなで情報共有
③こども・安全・安心	4	太田地区としてみんながやりたいことを知るためのアンケート実施	・いろんな世代のニーズを把握する ・地域活動の人材発掘 ・部活型の公園清掃	・アンケートの取り方や文面の工夫をする ・ラインで情報を流してもらったりする ・やりたいことを募集する ・アンケートだけでは趣旨が伝わりにくいため、アンケートだけでなく、語り場の機会を設ける ・清掃活動＋αで焼き芋やスタンプラリーと一緒にする	・連合全体として知っておきたいので、アンケートのまとめ作業を連合でやってはどうか。 ・結果をみんなで議論 ・やりたい、応援したい人が集まったらスタート！	・四月の連合会で会議、ミニワークショップ ・冬の間に準備を進める
		こどもの遊び場を作ろう	・こどもが思いっきり遊べる場所をつくる ・こどもたちの通学時の安全を確保する	・小学校の校庭の開放 →さくらクラブでは校庭を使うクラブを立ち上げる →開放している時間だけ、警察のパトロール ・見守りで、地域のおじいちゃん、おばあちゃんがサポートできればいいな	・地域のおじいちゃん、おばあちゃん、防災会？民生委員？ ・毎日やるのはしんどいので、かわりばんこにする	・学校と警察に相談してみる ・ほかの地域がどうしているのか聞いてみる
③こども・安全・安心	6	校区全体であらゆる人に情報共有（一元化）	・PTA も廃止、こども会もなくなったため、こどもに関する情報を共有できるようにする ・高齢者に頼りすぎず、子育て世代も活動できる関係づくり	・自治会にデジタル担当をつくる ・高齢者とこどもが顔を合わせられる場所づくりを行う ・情報共有ツールの電子化 ・情報をみんなで教えあう ・校区全体の情報発信のデジタル化	・子育て世代が SNS の勉強会を開いて、高齢の方に教える	・市に地域のデジタル推進のサポートをしてもらう

ワークショップのような話し合いの場をうまく活用しつつ、引き続き、よりよい活動づくりや新たな場づくりなどに繋げていきましょう！